

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	府中市
-------	-----

種目	発行者	採 択 理 由
国 語	光村図書	・資料として「語彙ブック」があり、描写・言動・思考・コラムという分類で学年に応じた語句が整理されている。また、デジタルコンテンツで「言葉の宝箱（小学校）」が見られる。 ・「話す・聞く」において、学校生活を話題に会議を開く単元が設定されている。合意形成の説明や話し合い例にポイントが示されており、身近な題材をもとに、見通しをもって話し合い活動を行うことができる。 ・自ら課題を発見し解決を目指して主体的に取り組めるよう、構成は、全体を見通し、学習を調整しながら個→集団→個で対話的に理解を深め、学習を社会生活や他教科に生かすことができる。 ・各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域と知識及び技能の内、複数の領域で構成されているので、単元、領域の力を育みつつ、関連した基本的知識・技能の定着を図りやすい。 ・教材ごとの二次元コードで動画や関連資料を見ることができるほか、C B T（コンピュータを使用した試験）形式の問題があり、解答のテキスト入力・自己採点ができ、生徒の学習に役立つ。 ・古文の教材に人物相関図が付けられており、内容を理解しやすい。 ・資料と本文を関連付けて学習する教材が充実している。 ・各教材の学習の仕方が「学びのカギ」として示され、視点に沿って学べるようになっている。また、「資料編」に要点がまとめて記載されている。
書 写	光村図書	・SDGs と書写を関連付けており、左利きの生徒への配慮もある。 ・「考えよう」では、目的や場面に応じてフォントなどの文字を使い分けることを考えることができる。 ・行書学習の始めに行書の特徴を四つに整理して行書スイッチを設定し、「考えよう」ではどのスイッチかをイラストで示している。「確かめよう」では筆使いを擬音語で示している。 ・楷書、行書の学習を経て、文字を使い分けることや日常に役立つ書式の学習という配列になっているため見通しがもてる。また、書写ブックを活用して、硬筆の学習を行えるようにしてある。 ・該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、「文字マップ」や「SDGs について」等、教科用図書に収録されていない関連資料を二次元コードで確認することができる。 ・左利きの生徒用の動画が用意されている。

		・行書の際の筆の運び方や余白のもたせ方がわかりやすい。 ・教科書に書き込むことのできるページが充実している。
社会（地理的分野）	東京書籍	・「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように/どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ・「アジア州」経済発展についての資料を発表し、それぞれの地域や国で経済が成長した理由とそれに伴う変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題について、自分の言葉でまとめる活動を設定している。 ・諸地域の特色をおさえた上で、対話形式になっているキャラクターの吹き出しによって、探究課題へと思考の流れを導く工夫がされている。また、地形図の色使いが鮮やかで見やすい。 ・巻頭ページに世界の食事と共に生きる人々の様子がうかがえる写真資料を掲載することで、学習指導要領に示される「人間と自然環境との相互依存関係」という視点に着目させる構成になっている。 ・単元ごとに「導入」の動画、白地図、統計表、記述できるテキスト、ワードチェック、「まとめ」に活用できる二次元コードが掲載されており、復習、予習に活用できる。 ・生徒が見通しをもち、探究的に学んでいくことができるような記載がされている。 ・気候の特色について、その様子がわかる写真が豊富である。 ・写真、絵、図、地図、グラフ、デジタルコンテンツの量が充実している。
社会（歴史的分野）	東京書籍	・見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」「どのように」といった1授業あたりの学習課題と小単元の学習課題も示している。また、見開き左ページに「チェック」、右ページに「トライ」を設定し、授業の流れが意識された問いの設定がなされている。 ・歴史的な見方・考え方の解説を掲載し、資料の読み取りやワークシート活動ツールを使って習得した「歴史的な見方・考え方」を活用する問いを掲載している。 ・二次元コード、絵図やイラスト等で資料の読み取りなどの個人活動やグループによる話し合い活動を示し、キャラクターの問いにより学習課題を導くよう構成されている。 ・章立ては古代から現代へと時系列に沿っており、全268ページは、歴史の捉え方14ページ、古代までの日本42ページ、中世の日本34ページ、近世の日本46ページ、近代の日本と世界100ページ、現代の日本と世界32ページで構成されている。補足的・発展的な学習については「知りたい!」という特設ページを8箇所、地域事例については「地域の歴史を調べよう」という特設ページを5箇所設けるとともに、第1章第2節「身近な地域の歴史」で6ページを使い地域の歴史の調べ方を示している。 ・掲載資料の内訳は、写真125、絵図84、地図32、図表・グラフ26、

		文書資料 47、年表 3、人物 57 である。二次元コードは 49 記載されており、クイズ、練習問題、ワークシート、動画、拡大画像、文献資料、地図、学習に役立つウェブサイトへのリンク、他教科の教科書を閲覧できるコンテンツにアクセスできる。 ・「見方・考え方」を働かせるための問いが多く示されている。 ・歴史年表に矢印が付けられ、外国とのつながりを年代と合わせて捉えやすい。 ・掲載資料の量が充実している。
社会（公民的分野）	東京書籍	・見開きごとにタイトルを示し、タイトルの上にサブタイトルを示している。タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で 1 時間の学習の見通しを示している。 ・単元末において、学習課題、学習活動を設定し、思考ツールや資料を基にまとめるように示している。 ・持続可能な社会形成に関わる課題例が掲載され、「1 課題の設定（課題把握）『持続可能な社会の形成者として』『2 資料の収集と読み取り（課題探究）『持続可能な社会を実現するために』『3 意思決定』『4 提案参加』『中間発表（スライド作成）』『最終発表（レポート作成）』のように課題解決の手順が示されている。 ・各章末に『深めよう』を設定し、生活に関わりのある学習課題が提示され、社会とどのように関わるか、社会をどのように築いていくかを考える活動が設けられている。 ・第 3 章「現代の民主政治と社会」における絵図、写真等の掲載は 283 点である。それぞれに脚注を記載している。 ・公民を学ぶことの意義や成人後のことについて詳しく伝えられている。 ・身近な問題を取扱いながら学習へいざなう構成になっている。 ・子どもの権利条約について、生徒が身近に感じられるような構成の工夫がある。 ・経済の仕組みやリスク等について、イラストを交えながらわかりやすく示されている。
地図	帝国書院	・日本の各地方ページに掲載されている歴史に関する資料が 16 ある。 ・地図を基に確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見！」を設定している。 ・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。 ・「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを 5 つに分類し色分けしている。 ・デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが 56 か所あり、州の初めのページにアクセスすると、その州の資料、動画を一覧で表示している。 ・歴史についての記載が多く、幅広く活用できる。 ・統計資料の量が充実している。

数 学	東京 書籍	・各学習のはじめに「Q 考えてみよう」を設定して学習のきっかけとするとともに、見通しを立てるための考え方を示している。 ・生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。箱ひげ図とヒストグラムなど異なる図を比較して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年) ・飲み物を保冷バックに入れると、どれくらいの間、飲み物を冷たく保てるか考える活動が設定され、「問題をつかむ→見通しをたてる(自分で考えてみよう、友だちの考えを知ろう)→問題を解決する(話し合ってみよう)→ふり返る→深める」という問題解決の過程を示している。 ・「数学の目で、振り返ろう」で、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしている。「数学の自由研究」で日常生活や他教科の学習と関連した課題やそれをレポートにまとめる活動を例示している。 ・デジタルコンテンツが豊富で、視覚的に確認できる。また多くの問いの類題がフラッシュカードになっており、学び直しに活用することができる。 ・関数の学習の導入に連続量の問題を配置しているため、生徒が理解しやすい。 ・フラッシュカード等のデジタルコンテンツが用意されており、生徒の知識・技能の定着に役立つ。
理 科	啓 林 館	・章の終わりに「Review ふり返ろう」、単元の終わりに「学習のまとめ」、「力だめし」、「みんなで探Qクラブ」が設定されている。基礎的な知識の復習から思考力を問う問題まで幅広くおさえている。 ・「計画」の中で、既習事項と関連付けながら計画する視点を示している。また、巻末に探Qシートが單元ごとにある。分析解釈については、「考察」として示されており、考察の視点も示されている。 ・巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示している。各単元の一箇所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動が行えるようにしている。 ・巻末資料では、探究に関することが多く書かれている。単元末の発展探究活動では、学習内容の振り返りができる活動が仕組まれている。対照実験を行わせ、根拠をもって考察を行うことができる。コラムでは、学習内容を実生活につなげていく内容のものが多く掲載されている。 ・動画コンテンツだけでなく、振り返りシートや、動かせたり編集できたりする多様なコンテンツで理解を助けたり、理解を深めたりすることができる。 ・飽和水蒸気量について、生徒がイメージしやすいような工夫がされている。 ・探究的に学習する際に役立つワークシートが用意されており、使いやすい。

		・「部活ラボ」「お仕事ラボ」等、世の中の事象とつなげるような工夫がある。 ・写真やイラスト、解説がわかりやすく示されており、生徒の興味・関心を高めたり、学習内容の理解を深めたりしやすい。
音楽（一般）	教育出版	・教材のページの端に縦書きで題材名、教材名の下に活動ポイントを示している。 ・「ACTIVE！」の中で、「見方・考え方」の手立てとなる音楽を形づくっている要素にフォーカスして鑑賞できるように示している。 ・「劇場・音楽堂へ行こう！」として音楽とのかかわり方を紹介する資料を掲載している。 ・全学年とも歌唱教材、鑑賞教材、創作の順に配列している。その後、「歌のアルバム」の合唱曲集、国歌「君が代」、楽典、資料の順に配列している。 ・いくつかの教材に二次元コードを記載し、イメージ画像とともに範唱を聴くことができ、曲のイメージをもつことができる。鑑賞教材では、楽曲を鑑賞することができ、ワークシートの活用ができる。 ・パソコン等で曲をつくる内容が設定されており、生徒が興味をもちやすい。 ・全ての教材において学習目標を2つのポイントに整理して示しており、学習者も指導者もわかりやすい。 ・「歌唱」「鑑賞」「創作」の学習の関連性がわかりやすく示されており、学習の見通しをもちやすい。
音楽（器楽合奏）	教育出版	・スモールステップで段階的に技能の習得ができるように掲載している。 ・箏の創作では、「荒城の月」の前奏をつくる活動がある。活動①～③の手順を示しており、イラストのキャラクターから、前頁で学習した事項を取り入れ工夫をすることなどのアドバイスをしている。 ・鑑賞や歌唱表現活動で取り上げる曲を、リコーダーでの表現活動にも取り組めるよう楽譜を掲載している。 ・和楽器の基本的奏法に関する内容をわかりやすく表し、和楽器を用いた多様なアンサンブル曲を始め、多数の曲を掲載している。 ・アルトリコーダーのそれぞれの練習曲に、新しく学習する運指を見開きページの左右の端に図で提示している。また、ソプラノリコーダーの運指も記載している。 ・リコーダーの演奏の仕方について、スモールステップで学べる構成になっており、技能を身に付けやすい。
美術	光村図書	・3年間で必要な「描く」「つくる」「写真」「映像」「発想・構想」「形・色・光」「色」について別冊資料が用意されており、生徒が参照しながら主体的に制作を進められる工夫がある。 ・美術作品の鑑賞の場面における言語活動の示し方を国語科とつなげ、美術鑑賞を広げる言葉をわかりやすく示している。生徒が感じとったことや、発想や構想の工夫が生徒自身の言葉で示されている。

		・全体を通して多様な日本美術が掲載されており、日本の絵画を風合いのある用紙に掲載するなど、日本美術への理解が深まるような工夫がされている。 ・題材を分野ごとに分けて配列している。題材の内容をページの左上に色と文字で示している。別冊の資料がある。 ・各題材において、題材名の横に二次元コードで、技法動画、全国の生徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示している。特に「体感ミュージアム」では、鑑賞作品への書き込みや、360度回転させて鑑賞できるようになっている。教科書の裏表紙に学校生活や社会生活に役立つ資料が二次元コードで示されている。 ・別冊の資料集を基に、イメージをもちながら制作をしやすい。 ・生徒の興味・関心を高めるような写真や文が掲載されている。
保健体育	東京書籍	・章扉に、単元を貫く問いを示し、その後に単元の学習内容を示している。1見開き1時間構成とし、ページの初めに、学習課題に迫るような問いを設け、その後に学習課題を明示している。 ・「広げる」として学習した知識を基に、日常生活との関連性に気付かせたり、さらに調べたりする活動を設定している。思考力・判断力・表現力を効果的に働かせることができるように、シミュレーションや思考ツールに関するデジタルコンテンツが提示されている。 ・学習内容に関連した「読み物」が紹介されており、各章の終わりには学習内容と関連が深い「章末資料」を示している。例えば、P24～26に「アレルギー」「睡眠はなぜ必要か」「体温測定と健康管理」について掲載してある。 ・すべての単元において発展的な内容の資料が掲載されている。例えば、「章末資料（P50）」に「胎児を育てる母体の神秘－胎盤とへその緒－」という資料を掲載している。 ・二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。【1年 保健編2章「心身の機能の発達と心の健康（2）」、2年 保健編3章「傷害の防止（11）」】 ・各章末の資料が充実しており、生徒が学びを深めることができる。 ・心肺蘇生法等について、巻末に整理して示されており、わかりやすい。 ・性に関する内容が充実している。また、項目ごとにわかりやすく記載されている。
技術・家庭 （技術分野）	東京書籍	・内容A～Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭で「技術の最適化」という項目があり、これまでの振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決について考えることを促す生徒のつぶやき等を記載している。 ・技術分野のガイダンス「技術の見方・考え方」において、製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性の面から折り合いを付け、最適化されていることに気付くための漫画を掲載している。

		・「未来の technology」において、これまでの学習を踏まえ、「技術の評価、選択、運用（技術ガバナンス）」「技術の改良、応用（技術イノベーション）」について考えさせるためのワークシートがある。 ・各内容と問題発見のためのテーマをあげ、製作例などで解決への手順を示すとともに、「もっと問題解決」でさらに問題解決例をあげている。 ・「デジタルコンテンツを活用しよう」のページがあり、デジタルコンテンツの一覧表示用の二次元コードが示されているとともに、全てのページに「D マーク」と二次元コードが示され、関連のデジタルコンテンツを表示できる。 ・学習したことをどのように生かすかを考えさせるワークシートが各章に用意されている。 ・道具の役割や道具の使い方が写真や文でわかりやすく説明されている。
技術・家庭（家庭分野）	東京書籍	・「実習を楽しく安全に進めよう」を巻頭に掲載し、食物アレルギーや感染症予防にも気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントをまとめている。 ・「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。（1 課題を決めよう 2 計画を立てよう 3 家庭や地域で実践しよう 4 評価しよう 5 改善しよう 6 次の課題に挑戦しよう） ・「生活に生かそう」「まとめよう」で学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする活動を設定している。 ・「生活に生かそう」が題材ごとにあり、生徒が実践しやすい具体的な内容が示されている。 ・授業で利用できるワークシートや思考ツール、基礎技能や幼児に関わる動画など、学習内容を定着・深化したり、家庭での実践に役立てたりできるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。 ・動画コンテンツが充実しており、生徒が実習する際の支援となる。 ・生徒に思考を促すような問いかけが充実している。 ・調理の手順がわかりやすく示されている。
英語	東京書籍	・Unit 1. 2 では Practice としてペアで伝え合う活動、Read and Think 1. 2 では、Reading と Writing の活動ができるようになっている。学期に一度、それまでに学んだ領域と技能を活用した Stage Activity が取り入れられている。 ・各学期末に Stage Activity という単元があり、聞いた情報から即興で「話す・聞く」から「書く」につながり、最後は「話す（発表）」活動がある。 ・単元ごとにとびらで Goal が示されており、その単元での目標が明確である。また、単元末に話す活動や書く活動の Unit Activity があり、最後に CHECK でその Goal に対して生徒自身が振り返りを行うことができるようになっている。 ・巻末の Word List に小学校外国語科で学習した単語に印がある。「小

		学校の単語」Stage 1 として Unit 0 ～Unit 4 まだが小学校で学んだ英語を整理するための Stage 1 として扱われている。 ・二次元コードを設置し、学習に役立つウェブアプリや資料、動画やクイズ、音声など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「資料編」と「巻末付録」を掲載している。 ・ゴールに向かってスモールステップで学習を積み重ねられるようになっている。 ・巻末資料が充実しており、復習する際にも役立つ。 ・活動目標や学ぶ内容が一覧にされており、自己調整しながら学習する際のよりどころとなる。
特別の教科 道徳	日本文教出版	・見開き 2 ページに、主題や教材、発問と学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の 3 つでイラストや吹き出し等とともに示している。 ・別冊「道徳ノート」に、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けるとともに、巻末のページに心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けている。 ・「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示している。 ・いじめの問題をテーマとした 2 つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設けるとともに、「いじめと向き合う」マークを使い、目次に色付けして複数示している。 ・目次、該当ページに「あすへのメッセージ」「視野を広げて」のマークを設定し、コラムのページとして示している。また教材名の下、別冊「道徳ノート」に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。 ・道徳ノートには発問が記載されていないため、自由な活用ができる。 ・主題となる場面を想像することができる挿絵が用いられている。